

# ふれあいニュースレター

【政府原子力被災者生活支援チームからのお知らせ】

- ニュースなど 4
- 飯館村減容化集約処理開始
  - 東北経済産業局支援策①
- インタビュー 2・3
- 株式会社ユアライフ(富岡町  
→福島市に避難中)
  - なにかし隊(楢葉町)

## 山の神様のお使いが帰ってきた

飯館村の山津見神社の火災で焼失したオオカミの天井絵の復元が、和歌山大学や東京芸術大学の先生や学生などの協力によって進められています。11月28日、再建後初めて、色鮮やかに蘇った100枚が披露され、村民やゆかりの人たちが、表情豊かなオオカミの絵に見入っていました。(写真は飯館村役場提供)







# 地域との交流を深め、受けた支援の恩返しをしたいと思っています

◆◆株式会社 ユアライフ（富岡町から福島市に避難中）◆◆

## 双葉郡の方々とともに

10年前に高齢者のグループホーム、デイサービスや居宅介護などの事業を会長とともに立ち上げました。富岡町以外の双葉郡の方からも利用いただき、やっと事業が軌道に乗り始めたところで震災が起きました。

## よい環境を求めて

避難指示後、利用者と職員総勢45人で一緒に川内村に避難しました。その後、大玉村など数カ所を転々としました。

富岡町の施設とは大きく異なる環境で、中には体調を崩してしまう利用者もあり、病院との連携が容易な現在の場所に落ち着きました。

## 職員にもよい環境を

一緒に避難した職員も家族の事情で一部が退職するなどしましたが、県の支援制度を活用して中通りの人たちに新しく加わってもらうことができ、この人たちが今年介護福祉士の国家試験に合格しました。

現在は事務職を含めて総勢50人のスタッフがいます。資格取得の支援とシフトの工夫で、働きやすい環境作りを心掛けています。

## 地域の方とお世話になった方のために

避難中物資不足で困っていた頃に国内外の各地から様々な支援を受けました。今度は自分たちが困っている方々のお手伝いをして恩返ししたいと思っています。

離れた事務所の集約と併せて、地域の方が気軽に集まっていられるような場所を造りたいと考えており、官民合同チームの知恵も借りられたいと思っています。



周りの住宅に溶け込む外観



グループホームは双葉郡の皆さんが利用されます



「地域交流室」の看板も掲げています



相双の言葉を聞きたくてここに来るとおっしゃる方もあります。

株式会社 ユアライフ  
(右から)

代表取締役 鈴木 洋子さん  
専務取締役 紙谷 瑞恵さん



## 株式会社ユアライフ

■住 所 福島県福島市伏拝田中21-1

■連絡先 024-563-4671

ホームページ <http://www.yurilife.co.jp/>

10/15  
開設



# ふるさとのために自分たちの手で 「なにかしたい！」

◆◆なにかし隊（檜葉町）◆◆

## ふるさと檜葉のために

ふるさと檜葉のために「なにかしたい！」という思いを持った39人が集まって、今年7月に初顔合わせをしました。

年齢は20代から80代と幅広く、ふだんの仕事も参加のしかたもさまざまです。

## 話し合いから

会合では「コミュニティづくり」など、4つのテーマについて話し合っています。11月の会合では、今感じている課題などを挙げた上で話し合い、帰町した町民同士の交流の場づくり、作業員の人たちとのコミュニケーション、防犯や交通安全のお手伝い、車を持たない方の送迎などの話題が出ました。

## 幅広く活動

9月5日の避難指示解除当日には、町内無線を使って、戻った町民を元気づけるメッセージを有志で放送しました。

また、10月の「ふたばワールド2015inならは」に、町外の方も加わった

「ならは応援団」と一緒に出店し、グッズを売ったり、ゆずジュースで来場者のおもてなしをしたりしました。

震災時の支援に恩返しをしたい、という隊員の発案で、台風の被害が大きかった茨城県境町への募金活動も行いました。

## まずは動き出す

メンバーからは、何かやってみたいとは思っていたけどきっかけがなかった、今まで町の人たちとこんな話をしたことがなかった、という声がありました。

大きくはなくてもできることから始めて、町を盛り上げられたらと思っています。



みんなでアイデアを出し合います



付せんに書いてまとめていきます



ふたばワールドではみんなで作った限定グッズを販売しました



私たちと一緒に活動しましょう！  
なにかし隊の皆さん(松本町長を囲んで)



**なにかし隊**（事務局（一社）ならはみらい）

■住 所 福島県双葉郡檜葉町大字北田字鐘突堂  
5-5（檜葉町公民館内）

■連絡先 0240-23-6771 **なにかし隊** 検索

一部写真提供：なにかし隊





# 飯館村の仮設焼却炉で 廃棄物減容化の処理 が始まりました

11月25日、環境省が飯館村<sup>わらひだいら</sup>蔵平地区に建設していた可燃性廃棄物の減容化施設(仮設焼却施設)が完成し、火入れ式が行われました。

この施設は、1日に240トンの可燃性廃棄物を処理でき、村内の除染廃棄物、片付けごみ、家屋解体により発生する廃棄物のほか、

周辺の5市町で発生した稲わら、牧草などの農林業系の廃棄物や、下水汚泥を処理します。

放射性物質を含む可燃性廃棄物を広域で処理する事業は今回が初めてであり、飯館村だけでなく、福島県全体の復興にも寄与することが期待されています。

また、同じ敷地内には、除染により除去した土壌、焼却灰などを工事用資材にリサイクルする実証試験施設の建設も進めており、できたものを福島県の公共事業に活用することを検討します。

## 東北経済産業局の 各種支援策をご活用 ください(その1)

東北経済産業局の東日本大震災復興推進室は、県と連携して、被災された事業者の皆様に対して、施設の復旧などのお手伝いをしています。

中小企業等グループ施設等復旧整備補助金(グループ補助金)は、これまで(第15次公募まで)全国の638グループに対し、約472

7億円の交付を決定、うち、福島県内の避難指示区域内の事業再開については、39グループに154億円の交付を決定しています(※)。

第16次公募は12月1日から25日まで実施しています。次回の公募は未定ですが、ご関心がおありの場合は、左の連絡先までお気軽にご相談ください。

グループ補助金の  
申請・お問合せは

福島県 商工労働部  
企業立地課  
024-521-8653

東北経済産業局  
東日本大震災復興  
推進室  
022-221-4813

中小企業庁  
経営支援課  
03-3501-1763

グループ補助金 福島 検索

※ これ以外に、避難指示区域にあった事業者が区域外で事業を再開したケースもあります。

バックナンバーや関連プレスリリースは  
原子力被災者生活支援チームのホームページからご覧ください。